

大垣市政クラブで同時配付

インターネットでの情報提供

提供開始日 4月25日

平成18年4月24日(月)県政記者クラブ配布資料

担当課	担当者	電話
岐阜県人材チャレンジセンター	近藤	058-278-1149
大垣養老高等学校	傍島	0584-32-3161

「母の日」に向けて「ロックシティ大垣」で花のディスプレイ ～大垣養老高校の職業体験プログラム「これが母に捧げるディスプレイ」～

若者の就職支援を進める県人材チャレンジセンター（ジンチャレ！）と岐阜県立大垣養老高等学校は、高校生の職業意識を高めるために、ロックシティ大垣の協力を得て、「**これが母に捧げるディスプレイ**」と題した職業体験プログラム（4月中旬から約1ヶ月間）を立ち上げました。

大垣養老高校園芸科学科の3年生は、自らが育てたカーネーションに付加価値を付けて販売する授業に取り組んでおりますが、この度、4つのグループに分かれ、母の日に向けてロックシティ大垣の店内を飾る花のディスプレイを企画しました。

4月26日（水）には、この4グループが、ロックシティ大垣のご担当者（5名）に対し企画提案を行い、優秀な企画を選定していただきます。そして5月上旬には、実際にロックシティ大垣の店舗内で選ばれた企画に沿って母の日に向けた花のディスプレイが飾られます。また、5月13日（土）・14日（日）には、母へのメッセージカードを付けたカーネーションなどの販売体験を行います。

「これが母に捧げるディスプレイ」企画コンペ

【日時】平成18年4月26日（水）14：15～15：30

【場所】ロックシティ大垣 コミュニティーホール（2F）

（大型ショッピングセンター。大垣市三塚町丹瀬 463 番地 1）

【内容】・大垣養老高校園芸科学科3年生17名（男子5名、女子12名）が4グループに分かれ、各15分間で、花のディスプレイの企画提案を行う。

・生徒らは起業家教育を支援する（有）マイトイ（大垣市。前谷智香代表）から、企画立案や提案（プレゼンテーション）について指導を受け、企画コンペに臨む。

・審査員は、ロックシティ大垣の販促主任、専門店スタッフら5名

【参考】・職業体験プログラム「これが母に捧げるディスプレイ」の概要は、別紙のとおり。

・5月13日（土）・14日（日）は、園芸科学科全員（34名）がロックシティ大垣で、実際にカーネーションなどの販売を通じて、接客方法や消費者ニーズを学ぶ。

ジンチャレ！（岐阜県版「ジョブカフェ」）の概要

- ・県下5圏域ごとに7拠点を設置。本部は、ジンチャレ！岐阜（県シンクタンク庁舎2階）。
- ・県下に5万人（若者の7人に1人）と推計されるフリーター、若年失業者等を対象に、カウンセリングから職業紹介に至るサービスをワンストップで提供。
- ・利用実績
 - 平成17年度 延べ利用者:32,903人、進路決定者数5,776人
 - 平成16年度 延べ利用者:18,651人、進路決定者数2,487人

ジンチャレ！が実施する高校プログラム（17年度実績）

- | | | |
|----------------|---------|-------------|
| ・職業人講話等 | 実施数 33回 | 参加者数 6,604名 |
| ・職場体験バスツアー | 実施数 9回 | 参加者数 1,320名 |
| ・保護者向けセミナー | 実施数 4回 | 参加者数 1,590名 |
| ・進路指導担当者向けセミナー | 実施数 6回 | 参加者数 357名 |